

(4) 日本大学共通項目について (項目 5,9~13)

以下は日本大学における全学的な共通設問項目となる。本設問項目では主として学生の学修時間の把握や学修傾向を測るための設問項目である。下表の上段が前期, 下段が後期の回答結果である。前期と後期で設問序列の変更もあったことから, 比較のため抽出して記載している。

令和4年度 前学期 学生による授業評価アンケートに係る全学共通統一調査項目集計結果回答票

学部等名 芸術学部

NO.	設問	回答方式	平均値	回答率(%)					有効回答数	有効回答数(延べ数)
				5	4	3	2	1		
1	授業時間外の学修(内容, 方法等)について, 担当教員から具体的(シラバスに明記を含む)に示されましたか。	択一	3.87	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	19395	
				25.69	45.74	21.67	3.76	3.14		
2	この授業科目の授業を1回受けるに当たり, 授業時間以外で学修(予習, 復習, 課題等)にどのくらい取り組みましたか。	択一	2.57	3時間以上	2~3時間	1~2時間	1時間未満	取り組んでいない	19395	
				10.57	8.92	25.65	36.69	18.16		
3	この授業科目を受けるに当たり, 図書館をどのような目的で利用しましたか。	複数選択可		文献資料を閲覧・借りた	予習・復習をした	レファレンスサービスを利用した	相互利用をした	全く利用していない	19395	
				11.67	9.38	1.67	3.44	77.59		
4	この授業科目に関し, 授業時間外(授業終了直後を含む)に, 担当教員に対し質問等を行いましたか。	択一	2.91	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	19395	
				16.31	21.20	24.25	13.53	24.71		
5	この授業科目に関し, 授業時間外に, 学生間で共に学修しましたか。	択一	3.11	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	19395	
				19.09	27.26	20.81	11.52	21.31		
6	課題(レポート, 小テスト等)に対し, 担当教員から学生へのフィードバック(評価や講評等の開示)はありましたか。	択一	3.95	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	19395	
				33.34	37.99	21.35	4.55	2.77		
7	この授業は, 総合的に評価して良い授業でしたか。	択一	4.24	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	19395	
				42.74	43.42	10.21	2.34	1.29		

※設問3については回答数に対し, 複数回答がある回答も含まれるため合計値が100%を超えております。

令和4年度 後学期 学生による授業評価アンケートに係る全学共通統一調査項目集計結果回答票

学部等名 芸術学部

NO.	設問	回答方式	平均値	回答率(%)					有効回答数	有効回答数(延べ数)
				5	4	3	2	1		
1	あなたは授業時間外の学修(内容, 方法等)について, 担当教員から具体的(シラバスに明記を含む)に示されていたと思いますか。	択一	3.98	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	15724	
				27.37	50.02	17.90	2.81	1.90		
2	あなたはこの授業科目を1週(回)受けるに当たり, 授業時間以外で学修(予習, 復習, 課題等)にどのくらい取り組みましたか。	択一	2.69	3時間以上	2~3時間	1~2時間	1時間未満	取り組んでいない	15724	
				13.00	9.82	26.48	35.08	15.62		
3	あなたはこの授業科目を受けるに当たり, 図書館をどのような目的で利用しましたか。【複数選択可】	複数選択可		文献資料を閲覧・借りた	予習・復習をした	レファレンスサービスを利用した	相互利用をした	全く利用していない	15724	
				3.59	1.95	14.77	11.43	73.00		
4	あなたはこの授業に関し, 授業時間外(授業終了直後を含む)に, 担当教員に対し質問等を行いましたか。	択一	3.06	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	15724	
				17.71	23.59	26.01	12.30	20.38		
5	あなたはこの授業の内容や学んだことを授業時間外(授業終了直後を含む)に, 他者に話したり, 共有したりしましたか。	択一	3.76	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	15724	
				27.00	40.90	19.48	6.36	6.26		
6	あなたが提出した課題(レポート, 小テスト等)に対する, 担当教員からのフィードバック(評価や講評等の開示)は役に立ちましたか(今後の学修や卒業後を含む)。	択一	3.95	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	15724	
				31.31	41.06	21.62	3.24	2.77		
7	あなたにとってこの授業内容は, 総合的に評価して良い授業でしたか。	択一	4.22	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	15724	
				41.38	44.77	9.96	2.22	1.68		

※設問3については回答数に対し, 複数回答がある回答も含まれるため合計値が100%を超えております。

設問 NO.1「あなたは授業時間外の学修（内容，方法等）について，担当教員から具体的（シラバスに明記を含む）に示されていたと思いますか。」に関しては，シラバスでの学修計画の明示では，前期 71.4%，後期 77.4%の学生が＜そう思う，強くそう思う＞と回答しており，授業時間外の学修に係るシラバスの記載内容が概ね適切であったことが読み取れる。特に芸術学部では創作活動が学修と密接であるため，総じて事前・事後学習に充てる時間は長い。創作系科目だけでなく講義系科目に関しても，具体的な指示が記載されることで，効果的な授業時間外の学修計画の策定に資する。また，前述のとおり学生が授業履修で最も参考にした（設問 1 参照）という結果も出ていることから，授業外にどのような準備学習や事後学習を必要とするのかを履修前に学生へ明示することは重要であることが読み取れる。設問 NO.2「あなたはこの授業科目を 1 週（回）受けるに当たり，授業時間以外で学修（予習，復習，課題等）にどのくらい取り組みましたか。」に関しては，前期，後期共に「1 時間未満」が最多で，次いで「1～2 時間」が回答として多かった。一見時間数としては少ないように見受けられるが，前述のとおり芸術学部の学生は創作活動と授業の境が少ない側面もあり，一概に授業時間以外で学修（予習，復習，課題等）時間が少ないとは言い切れない実態も存在するため，シラバス上で時間外学習内容の具体的な明示が必要と捉えられる。設問 NO.3「あなたはこの授業科目を受けるに当たり，図書館をどのような目的で利用しましたか。【複数選択可】」については，「全く利用していない」が前期は 77.59%，後期が 73.0%と利用率の低さが目立つ。この結果に関しては，大学院では全く逆の結果が出ており，課題制作が主体の芸術学部であるがその中で図書館がどのように学生サービスの向上に資するかが，検討課題である。設問 NO.4「あなたはこの授業に関し，授業時間外（授業終了直後を含む）に，担当教員に対し質問等をしましたか。」に関しては，＜そう思う，強くそう思う＞が前期 37.51%，後期 41.3%であり，＜そう思わない，全くそう思わない＞の合計が前期 38.24%，後期 32.68%と，拮抗しているものの，後期に改善が見受けられる。設問 NO.5「あなたはこの授業の内容や学んだことを授業時間外（授業終了直後を含む）に，他者に話したり，共有したりしましたか。」に関しては，前期・後期共に＜そう思う，強くそう思う＞の回答が最多であり，前期の 46.35%から後期が 67.90%と大幅に向上している。設問 NO.6「あなたが提出した課題（レポート，小テスト等）に対する，担当教員からのフィードバック（評価や講評等の開示）は役に立ちましたか（今後の学修や卒業後を含む）。」に関しては，＜そう思う，強くそう思う＞が前期 71.33%，後期 72.37%と肯定的な回答が多く今後も更なる向上を目指すべき点である。設問 NO.7「あなたにとってこの授業内容は，総合的に評価して良い授業でしたか。」に関しては，＜そう思う，強くそう思う＞の合計が前期 86.16%，後期 86.15%と圧倒的な学生評価を得ている。この結果に関しては，学修満足度向上調査（大学本部実施）などの結果にも同様の傾向が出ており，日本大学芸術学部の教育内容，学習指導が学生の支持を得ていることを象徴する客観的な情報と言える。

(5)自由記述欄

自由記述欄には，前期 1,730 件，後期 1,119 件の記入があった。これらに関しては授業評価アンケートシステム上では，担当教員にリアルタイムでの閲覧が可能で，即時のフィードバックが可能となっている。しかし，教員側には記載内容が特定個人を誹謗中傷する内容が散見され，学生にとっては記名により個人を特定できてしまう，不利益を被る可能性があることなど，運用面の課題も散見され，現在運用の改善を検討中である。